



# 遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3  
☎ 0258-32-1741 fax 32-6443



原発再稼働ストップ

第18回 憲法九条を守る長岡の集い……講演「あらためて、憲法って何？」—講師:伊藤 真さん—

# 「戦争は絶対起こしてはならない」



10/28講演する伊藤真さん

10月28日、長岡市立中央図書館講堂で第18回「憲法九条を守る長岡の集い」講演会が開催されました。開会あいさつは丸岡稔代表世話人。ピースオブフォレストの皆さんが平和の調べ演奏。

講師は伊藤真さん（伊藤塾塾長、弁護士、日弁連憲法問題対策本部副本部長です。

**【講演要旨】**

私たちは誰もが政治や憲法に無関心でいられても、無関係ではいられない。国民が無関心でいるうちにこの国のかたちが変わって来ているようだ。日本国憲法を破壊するファシズムが近づいてきているようだ。

世論調査では憲法改正に賛成が過半数。反撃能力保有に賛成が過半数。世論が賛成と言っているから「ど

んどん進めよう」と、攻撃できる武器を買い、相手の攻撃に反撃する力を持つ。日本を守るために、と。そんな動きになっていませんか？まさに戦争の準備ではありませんか？

ロシアやイスラエルの戦争を見ると、「戦争は一旦始まったら終わらない。軍事力では何も解決しない」とは明白ではないですか。

「戦争に備える」のではなく、「戦争の回避こそ重要ではありませんか。」

**【遠藤れい子の感想】**

「憲法守ろう」の熱い気持ちで話された伊藤さん。戦争の悲惨さを経験した人がいなくなる70年ごとに戦争は起こるそうです。

憲法九条の意義と重要性をあらためてしっかりと確認することができました。

「戦争とは人が殺され、人間的なものが死ぬことです」(半藤一利の言葉です。戦争は絶対してはなりません。憲法九条を守りましょう。

**若者よ** 作詞 丸岡稔

若者よ その銃を執る前に  
思い出してくれないか  
君に愛する家族がいるように  
相手にも愛する家族がいることを

若者よ その銃口を向ける前に  
思ってくれないか  
相手に愛する人がいるように  
君にも愛する人がいる筈

これまで多くの友と  
身内を失ってきた  
戦争は何も生みはしないことを  
私は知った

若者よ その手を放してくれ  
そして手を握り合ってくれ  
そうしてもらえなければ  
私は余りにも悲しい  
余りにも私は辛い

**作者** 丸岡稔さん 95歳  
長岡9条の会代表世話人  
医師として画家として  
活動する。戦争体験者  
として  
若者に  
呼びか  
ける

**遠藤れい子の笑顔でファイト**

**日本共産党の（紹介その2）**  
**経済再生プラン**

1. 政治の責任で賃上げと待遇改善をすすめる—人間を大切に作る働き方への改革

大企業の内部留保は510兆円にもなり、この10年間で180兆円近くも増えました。利益が増えても賃上げに回らず内部留保が積み上がる——このゆがんだ構造に切り込み、大企業内部に滞留する巨額の資金を賃上げで経済に還流する方策をとらなければ、長期の賃下げと経済停滞をまねくことはできません。

——この10年間に大企業が増やした内部留保額に対して、毎年2%、5年間の時限的課税で10兆円の財源をつくり、中小企業の賃上げを支援します。

——大企業の内部留保課税にあたっては、賃上げ分を控除し、賃上げすれば課税されない仕組みとして、大企業自身の賃上げを促進します。(つづく)